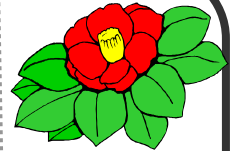


# のだネット通信



**中核地域生活支援センター のだネット**（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）  
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367  
〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com  
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

## 千葉県中核地域生活支援センター第5回研修部会に参加して

平成25年1月11日に開催された研修部会に参加しました。「自立支援協議会及び相談支援センターの現状と今後（相談支援体制を考える）」との内容で、社会福祉法人ワーナーホーム理事長 寺田一郎氏を講師に講義が行われました。

「今までの、サービス等利用計画支給決定者数は全国で4,000人弱、事業所数は3,000ヶ所有り、1事業所1.3人程しか行なわれていなかった。1件も行われていない指定事業所もあった」との事。市町村が対象者でも支給決定しなかった事もあった。

千葉県内の事業所数は、100ヶ所だったのが、6ヶ月で186ヶ所に増えたが、平成24年10月の調査では、千葉県内で29,791人（予定者数だが、実際は50,000人以上と考えられている。）のサービス等利用計画支給決定予定者がおり、まだまだ事業所数は足りていない状況。

野田市では、平成24年度で60人、25年度で300人、26年度で372人を予定しており、合計で732人を予定している。

今回の研修では、千葉県内外の様々な情報を教えていただいた他、支援のあり方、支援者への指導・配慮等の仕方を学び、とても勉強になる研修会でした。

（記：中村）

## 自立支援協議会報告

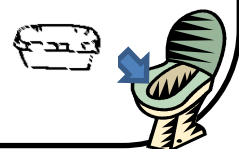
連絡調整会議終了後に自立支援協議会が開催されました。

千葉県相談支援発展推進支援事業補助金申請事業所の推薦についてや虐待事例の検証、精神部会に医療機関の方にも入ってもらうこと、障害者優先調達推進法などについて説明がありました。

障害者優先調達推進法とは、障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就業する障害者の経済的面の自立を進めるため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公機関が、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設から優先的・積極的に購入するために制定された法律です。

指定多機能型事業所「つばさ」や地域活動支援センター「さくら」では使い捨て携帯トイレを内職作業で取り入れています。震災対策に必要なものですからこのような品物を対象にする必要性を感じました。また、使い捨て携帯トイレは事業所で直接販売もしていますので、ご家庭の備えにもいかがでしょうか。

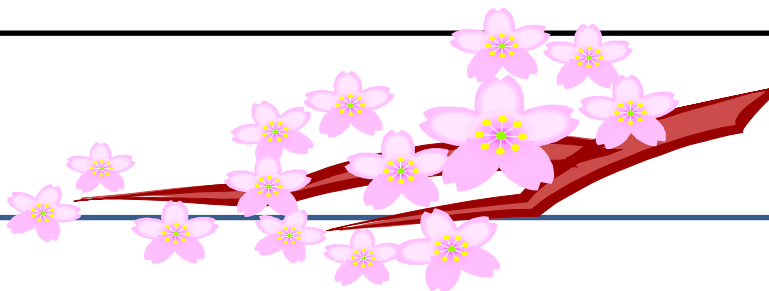
災害時以外にも、断水や介護等で使えます。



## 連絡調整会議開催

平成25年2月14日(木)野田市保健センターにて、野田ネット連絡調整会議を開催しました。野田市医師会、野田特別支援学校、柏児童相談所、野田市教育委員会、野田市高齢者福祉課、野田市児童家庭課、野田市総合相談センター、野田市保健センター、野田市消防署、市内福祉施設、当事者団体、家族会等各関係機関の皆様に来ていただいて意見交換をしました。緊急時の対応について各機関からの情報をお聞きしました。

(記:五十嵐)



## いちいの木研修会

平成25年3月1日(土)に閑宿南部公民館にて「発達障がいのある子どもへの支援と対応」についての研修会が開催されました。閑宿地区の職員向けの研修会で、保育所や学校の先生方が参加されました。講師は千葉発達障害者支援センターの田熊先生で、ライフステージごとの支援課題をあげながら支援のポイントについて教えていただきました。

乳幼児期では保護者のペースを尊重しながら情報提供をすることや療育だけでなく家庭での取り組みにつて相談できる体制をつくること、学童期では特性に応じた学習環境を維持するには交流も大事だが個別のペースを第一に考える事、学習内容や対人関係が高度になるためつまずきから生じる自尊心の低下に注意が必要となること思春期では二次障害の予防と気づきが重要で医療や福祉との連携が必要になってくる等、具体的に教えて頂くことができました。

(記:五十嵐)

## こころネット・ハートゆう 講演会

### 「おとなの発達障害～障害の特性と対応について」

平成25年3月9日(土)野田市総合福祉会館第3会議室にて千葉県発達障害者支援センター副所長の田熊 立氏より講義を受けました。

はじめにDVD「発達障害を知っていますか？」を鑑賞しました。内容は、事例を基に発達障害の説明、過去の出来事や大人になってからの障害を当事者・医師・研究機関が困難な事等を症例に合わせて説明がされていました。

講義の中では...ADHDは自分の好きなことに対してはすごい集中力があるが興味がないことには不注意になる。行動に計画性が無く、何も成し遂げられない等の特性がある。LDはマニュアルが読めない、メモが取れない等の特性があり、小・中・高校生の学生時代が大変で苦しい時期とのこと。広汎性発達障害は対人関係に困難が生じるのが特性との事。

発達障害が世間に認知されていない事がこれからの課題とのことでした。

(記:中村)

## 精神障害者の地域生活推進ネットワーク・ちば 第8回退院促進フォーラム 「本音で語ろう！精神障害者の退院促進に向けて・千葉で出来ること！」

平成25年3月9日(土)千葉市幕張勤労プラザにて行われたフォーラムに参加しました。NPO法人じりつの岩上氏より「精神障害者の地域移行のための相談支援の現状と方向性～今後の精神保健医療改革を見据えて」をテーマに基調講演があり、後半のシンポジウムでは印旛圏域、市川圏域、千葉市の相談支援事業所からの報告がありました。

個別給付になって、退院に消極的な人の支援や遠隔地に入院していて地元に戻りたい方の支援が困難になったことや報酬が少ないため専任職員を置けないこと、ピアサポーターの養成など課題がいくつか挙がりました。

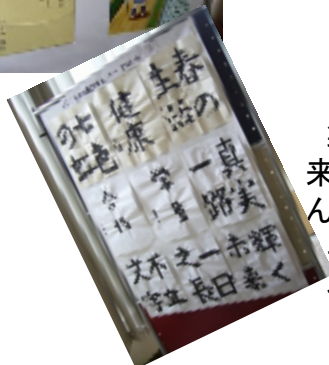
来年度は地域体制整備コーディネーターが廃止になるため圏域内の取りまとめをどのようにしていくのかも気になるところです。

(記:五十嵐)



## 趣味の部屋

平成25年3月14日、15日北コミュニティセンターにて「こころの作品展」を開催させていただきました。



集まった作品点数は30点で1日目には15名、2日目には21名の来場者がありました。作品をお寄せ下さった皆様、会場に足を運んで下さった皆様、ありがとうございました。

来年度も継続して企画していけたらと思っています。

今後ともよろしくお願い致します。

五十嵐♪